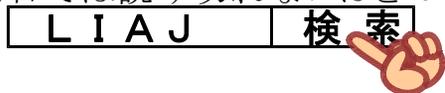


牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

- 1 全酪新報2月1日号 全国酪農協会
牛群検定ワンポイントレッスンその32 繁殖成績の課題を切り分けよう！
繁殖成績改善のポイントは、受胎率、初回授精日数、発情発見率のうちどれ？
- 2 酪農ジャーナル2月号 酪農学園大学エクステンションセンター
牛群検定だより（第23回）牛群検定40周年記念優良事例を発表
東京と福岡で行われた40周年記念の優良事例発表の様子を紹介
- 3 LIAJニュース1月号 （一社）家畜改良事業団
新しい牛群検定成績表について（その40）
搾乳ロボット利用農家における牛群検定
普及の著しい搾乳ロボットでの検定方法や、活用方法を紹介

家畜改良事業団のホームページを活用しよう！ 牛群検定関連情報が満載です。

当団ホームページは、1日では読み切れないほどの牛群検定情報の宝庫です。主だったものを紹介します。<http://liaj.lin.gr.jp/>



乳牛最新情報

今月の牛群検定頭数や最新の305日成績などの牛群検定成績

牛群検定情報

成績表の活用方法が満載、LIAJニュース連載の「新しい牛群検定成績表について」は、バックナンバーを公開中！

繁殖台帳 Web システム

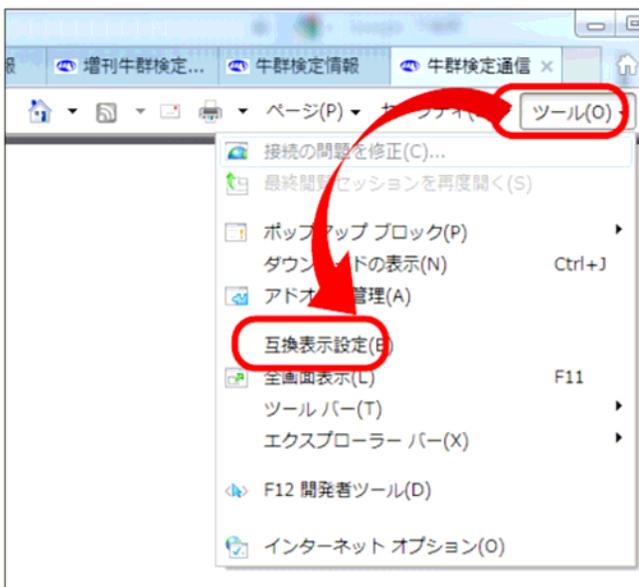
繁殖台帳Webシステムの活用や操作を、動画で紹介しています。
入門編6本、応用編5本（1本5～7分程度）

地域別牛群平均情報

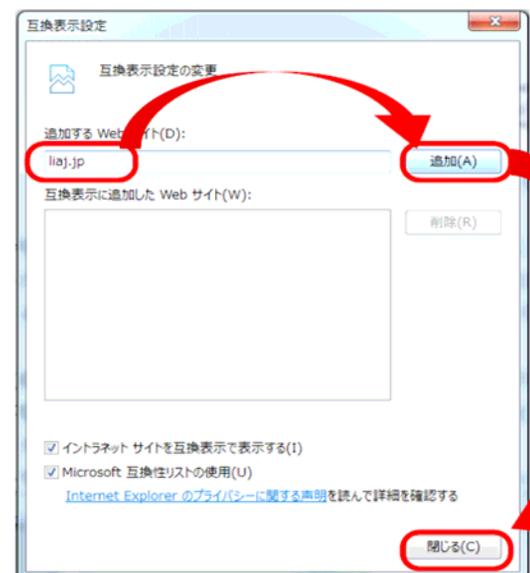
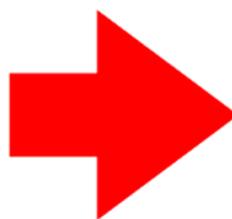
みなさんが利用している検定成績の、各県の平均値を公開しています。
その他にも、各種情報が満載です。

家畜改良事業団のホームページを見られないときは...

「互換表示設定」を実施してみてください(Internet Explorer9以上)



①Internet Explorerのメニューの【ツール】をクリックし、「互換表示設定」をクリックします。



②「追加するWebサイト」欄に「liaj.jp」と入力し、右の「追加(A)」をクリック、次いで「lin.gr.jp」を同様に追加して下さい。追加が完了したら「閉じる」を押して下さい

3月の牛群検定研修会です。 空きがありますので、奮ってご参加ください！

都道府県試験場や普及センター、家保等の牛群検定関係者、検定組合のご担当者はもちろん、検定員や検定農家など熱意のある方々であれば、皆さんご参加頂けます。いずれも参加費は無料ですが、交通費や宿泊代、食費等をご負担ください。また、お住まいから近隣の会場でなくとも参加できます。

1 検定員研修会

主な内容 ①ボディコンディション判定実習
②乳量計の取り扱い実習
③検定成績表の見方と活用 等

日時と場所 3月8日火13:15～ 9日水14:30 福岡県筑紫野市 福岡県農林総合試験場

2 指導者研修会

主な内容 ①検定成績表の活用
②鳥取県の指導事例 大山乳業 今吉課長
③繁殖管理の現状と課題 石狩地区農済 獣医師 安藤技術主幹
④改良情報の有効活用 家畜改良センター 大澤係長 等

日時と場所 3月15日火9:50～16日水11:55 岩手県盛岡市 マリオス

3 乳用牛ベストパフォーマンス実現セミナー

主な内容 ①基調講演 御影庵 阿部主宰
②北海道優良事例発表
③鳥取県の指導事例 大山乳業 今吉課長 等

日時と場所 2月29日月13:00～17:00 北海道札幌市 さっぽろ芸術文化の館
3月01日火09:00～12:30 北海道札幌市 同上
(都府県での東京会場と福岡会場は終了しました)

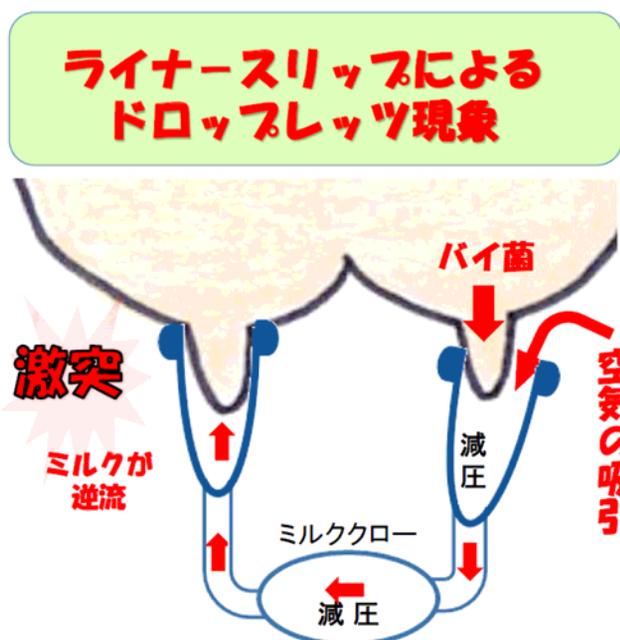
2日目も同じ場所に
変更になりました

参加希望の方は、お近くの検定組合、または家畜改良事業団までお問い合わせください。早めの申し込みを
Eメール toiawase@liaj.or.jp 電話 03-5621-8921

乳用牛ベストパフォーマンス実現マニュアルから ミルカーのライナーゴムの定期交換を励行しよう！

搾乳機器のメンテナンスの励行は、乳房炎の発生を抑制する手段として極めて有効です。特に、ライナーゴムは、乳頭に直接接触するので、古くなってヒビなどがあるとそこにバイ菌が増殖します。

また、ゴムが堅くなるため滑りやすくなりライナースリップを発生させます。ライナースリップは、図のようにドロップレット現象を発生させ、乳房炎の原因となります。



ライナーゴムは製品にもよりますが、一般には搾乳回数1500回または3カ月で交換とされています。ここで大事なのは、いずれか早い方で交換することです。必ず、次の計算をしなければなりません。

$$\frac{(1500回 \times \text{ミルカーユニット台数})}{\div (\text{搾乳牛頭数} \times \text{1日搾乳回数})}$$

例えば、ミルカーユニット6台で、搾乳牛80頭を1日2回搾乳であれば、

$$(1500 \times 6) \div (80 \times 2) = 56.25 \text{ 日間 (約2ヶ月)}$$

この例では、3ヶ月で交換は遅く、約2カ月で交換しなければならないこととなります。

※製品により、交換の推奨期間や回数が異なりますので、メーカー代理店の技術員に確認してください。